

平成 29 年 5 月 31 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 様

議会報告会 3 班
班長 斉藤 真理
西尾 段
大塚 洋一
笠原 久恵
楠山 栄子
海老原 功一
乾 紳一郎

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 29 年 5 月 13 日 (土)
午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 中央公民館 講義室
- 3 欠席議員 0 人
- 4 来場者数 市民来場者 11 人
議員・職員 3 人
- 5 報告内容
雨が強まる中、市民経済委員会としては初めてとなる中央公民館で開催しました。平成 29 年度の予算審査について、4 月 1 日発行の広報ながれやまの記事に基づいて 30 分

程度で説明を行いました。その際、別の配布資料はあったものの、プロジェクターで投影した資料を市民に配布しておらず説明が分かりづらいとのご意見を頂きました。説明方法に反省が残りますが、今後はプロジェクターに投影した資料も配布するか、又は実際に配布した広報ながれやまの記事の順番に沿って説明をすることで、より理解を深められると思われまます。今後の改善策を検討したいです。11名の参加者数は、比較的意見が言いやすい人数かと思われまます。一部の市民に発言が偏ったとの見方も出来るが、約半数の市民が活発に意見交換できたことは新たな成果とも言えます。

特に、過去には批判的な意見だけが目立ったこともありましたが、今回の議会報告会では、建設的な提案や問題提起なども多くあって非常に有意義な議会報告会になったと感じまます。

6 意見交換内容

Q1. 指摘要望事項について、子どもに対する要望は多いが、高齢者に対する要望がありません。高齢者には興味がないと言う事ですか。

A1. 今回の予算の報告は一般会計のみに限定してまます。介護保険、後期高齢者医療保険、国民健康保険は特別会計で行われているため高齢者に関する要望が今回の指摘要望事項の中に無いことは事実ですが別の場所ではしっかり議論されてまます。

Q2. 新小学校は学区を変えたりスクールバスを活用したりするなどして新設しないで済ませられないでしょうか。

A2. 新小学校は案の段階で場所など詳しいことは未定です。少子化が始まった後の活用方法なども含め、今後の課題として検討しまます。

Q3. 保育士の8,000円の手当は妥当と思いまます

か。

A 3 . 手当ては高い方が良いに決まっていますが、基準が決められており難しいです。市独自で手当てを出していることは評価できます。今後も限られた財源の中でできる事をやっていく必要が有ると考えます。

7 参加者から議会への要望

- ① だらしない議員が多いのでしっかりしてほしい。
- ② 職員の互助会のあり方について時代の変化と合わせて検証してほしい。
- ③ 職員の定年の年齢を高くして人材活用したほうが良い。
- ④ 自治会に対する交付金を復活してはどうか。
- ⑤ 幼稚園の用地として確保された土地が放置されていてもったいない。
- ⑥ 市長以下4人の特別職の報酬について減額を検討すべき。
- ⑦ 実際には人件費となるはずのものが外部委託の場合などは物件費に含まれてしまい、分かりづらい。

8 所感

市民経済委員会による議会報告会も最後となりました。発言が一部の市民に偏り、参加者みんなが気軽に質問できる、意見が言えるという報告会を実現するためにはどうしていくかが問われていると感じます。

市民からの質問・意見では、いつも議会報告会に参加していただいている方から、それぞれの問題意識に基づいて調査したこと、市当局とのやりとりなどを踏まえた貴重なご意見があり、更には市民が議員を育てることが大切だとのありがたいご意見も頂きました。

「予算委員会の指摘要望事項に高齢者の項目が一つもないではないか」との厳しい指摘がありました。一般会計、特別会計で審議の場所が異なっていることや共通指摘要望のまとめ方について説明しましたが、納得はいただけませんでした。議会の事情で説明したような気持ちになるのではなく、市民の目線からどう見えるかを意識していかなければいけないと痛感しました。指摘要望をまとめる際の観点としても全体のバランスをどうとるのが大事だと思います。

最後に、議会はそれぞれの会派がそれぞれの政策、見解をもっているため、議案などについての態度は異なります。多様な意見を反映させるのが議会の役目ですから当然のことです。市民の意見、要望を聞くことだけに留まらず、市民の意見・要望などに対しする個々の議員の見解や政策を発言しやすい運営が大事だと思いました。

以上